



高知県介護福祉士会広報誌

— 第40号 —

喜怒哀楽

K I D O A I R A K U

- 発行 高知県介護福祉士会
- 編集 広報委員会
- 事務局 〒780-8567
高知市朝倉戊375-1
高知県社会福祉協議会内
TEL 088-844-3605
FAX 088-844-9443
- URL <http://kaigo-kochi.jp/>

口から食べる喜びを続けるために私たちができること

平成31年1月14日 NPO法人「口から食べる幸せを守る会」理事長の小山珠美氏を講師にお招きし、第2回全体研修会を開催しました。小山氏は看護師として在任しながら経口摂取への取り組みを専門に行い、平成28年NHK放送「プロフェッショナル～仕事の流儀～」への出演から全国で活躍されています。研修の申し込みも締め切りを待たずに定員60名を大きく超え、関心の高さに驚きましたが、それと同時に食への関心がある介護福祉士がたくさんいることを肌で感じ、安心も覚えました。

人は毎日栄養を取らないと生きてはいけません。昔は食べられなくなったら死ぬことが当たり前でした。しかし、今では高齢で口から食べることが困難になっても医療の進歩により、『口から食べられない＝死』と直接結びつかないことも事実です。では、実際自分が口から食べられなくなったらそれでいいのでしょうか？年をとったから仕方ないかと納得して生きていけるのでしょうか？そんなことも考えさせられる研修でした。

今回の実技のなかには人体の構造や「食べること」についての機能の説明もあり、その中で、むせ込むのは介助の問題であること、どうして誤嚥してしまうのかというアセスメント力の弱さにも言及されました。知らない、面倒くさいではなく、どうすればできるか、というように物事の見方を変えてみましょう。という小山氏の言葉を聞き、ハッとさせられた方も多くいたようです。



私たち介護福祉士はご利用者に一番近い存在です。もちろん、3食介助をする場面も多くあると思います。そんな私たち介護のプロが食事についての知識、経験が豊富でむせ込みや誤嚥を最小限に防ぐことができたなら、きっとご利用者の皆さんにとっても、食事が楽しく、喜びを感じるものになるでしょう。もちろん、人材不足の問題や、経験、知識不足など、たくさんの方が起きます。が、このような学ぶ時間を持てたことで、また一つ、現場での解決策が生まれたら嬉しく思います。

研修委員(理事) 本山 将也

すこやかな暮らしのお手伝い



福祉用具・レンタル・販売

介護保険指定福祉用具貸与事業者
介護保険事業所番号 3970103093

(株)マサキ・ウェルフェア

本社 / 高知市春野町平和3393-11 ☎ (088)841-4723
西南事業所 / 宿毛市平田町東平1-5-11 ☎ (0880)66-2362

「介護職種の技能実習指導員講習」を開催

平成30年11月に技能実習制度に介護職種が追加されたことを踏まえ、昨年度に引き続き2回目の技能実習指導者講習を平成31年1月19日に開催いたしました。

まだ受け入れるかどうか考えておられる法人・事業所も多いようで、昨年度に比べ受講された人数は25名と少なくなりました。しかし受講された皆様は朝から夕方までの長時間の講習でしたが、集中し真剣に受講されておりました。

「人材不足の介護に人を入れるため」「低賃金で働いてもらうため」など、技能実習制度の意味を少し勘違いしたまま受講された方もおりましたが、講習が進むにつれ『技能実習』というものがどういったものなのか、受け入れるためには受け入れる側は何を準備すべきなのかなどを一緒に学びました。受け入れる国によって風習も違えば、当然考え方・価値観も違います。「郷に入れば郷に従え」ということわざがありますが、日本に来たから日本のやり方のみで働けというのは違うのです。相手の思いを聞き・理解し、そのうえで「介護」という「技能」を根拠をもって指導することが大事になってきます。また介護の仕事だけではなく、慣れない日本での暮らしのために、どこで買い物ができるのか、ゴミの分別から捨て方までも気に掛けていかななくてはならないという話になると、「そこまで考えないといけないのか…」と少しビックリされている受講者も見られました。

受講された皆様がこの制度の目的と技能実習指導員の役割を理解し、それぞれの現場で周りの職員の方々に説明し受け入れの意味・目的を理解していただき、より良い形で技能実習生にお伝えしていただければと願っております。

企画委員長(副会長) 森本 俊介



受講生からの感想

特別養護老人ホームあざみの里
介護リーダー 田所 佐理

介護職種の技能実習指導員講習を受講して、制度や仕組みを理解していく中で、単純に「労働者として外国の方を受け入れる」というものではない事について深く学びました。

人材育成を通じて、日本で実践されている介護の仕事を出身国に持ち帰ってもらえるように、技能実習生1人1人に合わせた実習計画を作成し、その計画に沿った実習を確実に実施していく必要があり、技能実習指導員・生活指導員等が中心となって技能実習生を全面的にサポートする体制を作らなくてはならないと感じました。

育成においては新人職員の育成に似た部分もあると感じましたが、生活面でのサポートとして、慣れない国の習慣や言葉・暮らし方においては技能実習生の不安は大きいと思います。受け入れる事業所は、安心して実習を続けられるように実習生の出身国についての知識や思考の違い、それぞれの個性を知り共有した上で関わりをもち、共に働くチームの一員として技能実習生の育成に努めなくてはならないことを学びました。

一般社団法人

ナチュラルハートフルケアネットワーク



誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるために、地域のケアをより良くすることを目標に活動しています。地域の医療・福祉職が集まり福祉機器展や研修活動・人材育成をしています。ネットワークは全国に広がっています！

〒780-0870 高知市本町3-6-37かわさき予備校ビル3階
TEL./088-821-7756 FAX./088-821-7758
Mail./nhn@nhcn.jp

【主な活動】

ナチュラルハートフルケアネットワーク
全国事務局
NHNTトレーニングセンター(研修センター)
日本ノーリフト協会高知支部事務局
高知ノーリフト推進連絡会事務局
高知おむつフィッター連絡会事務局
ミニむつき庵
生き活きサポートセンターうえるば高知
高知家統一基本ケア普及委員会
チャレンジドCLUB

NEXTと一緒に成長していきませんか？



平成30年度も終わりに近づき、青年部NEXTの今年度の活動も2月24日の口腔ケアの勉強会で無事終了となりました。平成24年に発足したNEXTは「介護福祉士のスキルアップ」「次世代の育成」「ネットワーク作り」それらを目的に活動し6年の月日が経ち、私達も次のステップへ向けて、どんどん変化していかなければいけないと感じています。昨年の同時期のこの喜怒哀楽の広報誌には「若手の力で魅力ある介護を発信し、次世代へ繋げたい。」と綴っていますが、運動や口腔ケアについてなど、介護現場でも

特化した内容を意識して企画しています。しかし、ただ勉強をするだけでは、介護の魅力は発信できないと考えています。そこで私達は、1人では微力でも、仲間が集まって、一つの目的のために集団で行動をすることが一つの方法だと考えているわけですが、現場では人員不足ということもあり、私達の活動も実際のところ、一緒に活動できる仲間が不足しているのも現状で、課題は山積しています。中四国ブロックの若手介護福祉士が集まって活動したことをきっかけに、他県にも若手の活動が少しずつ出てきており、行動のうねりを引き出すきっかけ作りには参画することはできました。ぜひ、39歳以下の若手の介護福祉士で、青年部NEXTと一緒に活動してみたい、興味があるという方は声をかけていただけたらと思います！来年度も青年部NEXTをよろしく願います！



NEXT委員長(理事) 利谷 大輔

LINE@

お友だち登録はこちら 

ID検索 @ztv77611 QRコード



facebook 

高知県介護福祉士会 青年部NEXT で検索

<https://facebook.com/nextkochi/>



新高知基準寝具株式会社

〒781-0015 高知県高知市薊野西町2-25-22

Tel 088-845-1515 Fax 088-845-1520

取扱品目； 賃貸業務

寝具・患者衣・ユニフォーム、白衣類・タオル類
カーテン・マットレス・洗濯業務全般

販売業務

ベッド・家具・特殊浴槽・施設内備品全般
紙おむつ・介護用品・その他関連品目

見積・お問い合わせは上記連絡先へ宜しくお願い致します。

気分転換～休日のお楽しみは・・・～

事務局として介護福祉士会に携わるようになり、気がつけば一年と半年が過ぎていました。中国・四国ブロック研修会高知大会という大きな事業が進行中だったこともあり右往左往の日々でしたが、沢山の方々にご協力いただき無事に終了することができて安堵しています。ありがとうございました。

さて、私の仕事は研修会の時に受付等お手伝いをさせていただく以外は、パソコンに向かってずっと座りっぱなし。事務局があるふくし交流プラザへ来たことのある方はご存知だと思いますが、窓の外には海が広がっている...訳ではなく気分転換は期待できません。なのでつつい間食ばかり。身体にはよくありませんね。

そんな日常からの脱出といえば大げさですが、楽しみにしていることがあります。それは「ライブへ行くこと！」県内はもちろん、お隣の香川や橋を渡って岡山、大阪それに東京などなど...



実は若い頃はほとんど旅行に行ったことがなかったので、ライブがきっかけの観光旅行といったところでしょうか。当然ショッピングや美味しい料理にお酒も満喫しています。それから、「友人に会う」こと。私にとってはそちらもライブと同じくらい大切な時間です。みんな住んでいる県も年齢も仕事もバラバラ。なかなか都合がつかずに数年ぶりに会う方もいるのですが、時間は関係ないですね。再会した瞬間から好きな音楽のことや近況、くだらない話に夢中になっています。ライブが終わればお酒も入ってさらに盛り上がり、日付が変わる時もしばしば。

そんな私たちの年に一度の大イベントは大阪・万博記念公園で行われる野外ライブ。スタンディングエリアで飛び跳ねるのも、ピクニックエリアにレジャーシートを広げて友人や家族とゆっくり楽しむものあり。辺り一面芝生

で気持ちが良いですし、当日は特設屋台もあり、グルメを堪能しつつ音楽を楽しめる最高のひと時です。以前は真夏に開催されていたのですが、数年前から秋に変更されたおかげで体にも優しくなりますます参加しやすくなりました。

これからも介護福祉士会の運営に携わりながら趣味も堪能したいと思っています。楽しみがあるから頑張れる！生活が充実する！ですよ。



事務局 大藤 葉月



四季折々の果物を全国にお届けします。

青果・果物

福島商店

保育園・幼稚園への配達もしています

〒781-0270 高知市長浜4968番地3

電話:088-841-2361



平成を振り返って…そして新しい幕開けを迎えるにあたり

高知県介護福祉士会が発行している「喜怒哀楽」も、いよいよ平成最後の発刊となりました。ここで少し今号では平成を振り返ってみたいと思います。

福祉領域では、ゴールドプランが策定され、様々な整備がなされました。また、その後介護保険制度が誕生し、私たち介護領域もより一層専門性が重要視されるようになりました。措置から契約へ…嫌というほど耳にしたフレーズです。そして介護福祉士の質も問われています。

高知県介護福祉士会も早々に発足され、今年で27年を迎えます。私自身もちょうど平成の幕開けとともに介護の仕事に足を踏み入れ、今に至っています。当時は今と比べ、現場もゆったりと流れていた記憶があります。時は経ち、平成が終わるこの時期に、このように記事を書かせていただくことには感慨深いものがあります。と同時に介護を取り巻く社会情勢はどんどん変化と進化を問われており、さらに現場の抱える課題は多重化しています。また、介護福祉士の役割についても注目される一方で、虐待や不適切ケアが後を絶たない現実もあり、各々がどの方向に進んでいくべきか、今一度自問自答することも大切なかもしれません。

しかしどのように変化や進化が問われても、私たちが持ち合わせる信念として変わらない木の幹の部分もあります。ご利用者の身近に存在する私たちは、ご利用者の「自立支援」「暮らしの継続」「高い倫理性の保持」が成立するよう今後も自己研鑽が必要不可欠です。人材不足や外国人受け入れ等これから様々な課題と困難が待ち受けていますが、現場で抱える悩み、迷い、苦労を共有しながら、「ご利用者が生きる幸せを実感してもらえるかかわり」を続けていきましょう。そして「介護福祉士の存在意義」が社会全体で認識してもらえるよう会員の皆さんとともに前を向いて歩んでいきたいと考えています。私自身も「介護」は「自分の生きざまが試される仕事」であるとしっかり認識しこれからは前に進んでいきたいと思っています。

広報委員(理事) 山中 由美子

～平成30年度 高知県介護福祉士会 会長賞～

当会では、県内の介護福祉士養成校を卒業予定の方の中で、当会の表彰規定にそって養成校の推薦を受け、今年度も3校(高知県立大学・平成福祉専門学校・高知福祉専門学校)の卒業式当日に高知県



介護福祉士会会長賞を表彰しています。養成校卒業、資格取得がゴールではなく、今後の更なる成長、活躍を期待し、また当会の事業や、青年部NEXTの活動等にも興味、関心を持ってもらえるきっかけになればと考えています。

また、卒業前の時期に3校それぞれにご協力、お時間をいただき、会長、理事、NEXTメンバー等が介護福祉士会への入会説明会も行っています。どのような活動をしているのか、どんな情報を得られるのかなど直接お話をさせていただくことで理解していただき、毎年卒業される方の多くに入会していただいております。

会長賞 (平成福祉専門学校 上本 真羽 さん)

研修委員長(副会長) 土居 沙織



日本ダストコントロール協会加盟店
清潔と快適の総合サービスをめざす リユース&リニューズ

有限 株式会社 リースキン高知

〒781-0252

本社 高知市瀬戸東町2丁目77番地2

営業所 高知市長浜1592-4

TEL (088)841-6336 Fax (088)841-5668

研修・イベントのお知らせ

日程	内容	会場	定員
4月20日(土)	2019年度総会・ 第1回全体研修会 「看取り～住み慣れた場所で 死ぬということ。病院で死ぬ ということ～」	高知県立あき総合病院 地域連携室長 的場 俊 氏	180名
5月16・17日 (木・金) 6月4・5日 (火・水)	介護福祉士基本研修 (全4日間)	高知県介護福祉士会 理事	40名 予定
6月21・22日 (金・土)	(公社)日本介護福祉士会 第25回中国・四国ブロック 研修会	岡山県	

研修会と併せて総会も
ぜひご参加下さい！

2019年度も様々な研修を予定しております。ぜひご参加ください！！
※各研修会の要綱は、準備ができ次第本会ホームページに掲載します。
(ホームページアドレス <http://kaigo-kochi.jp/>)

※住所や勤務先など登録情報の変更がございましたら、「変更届」の提出をお願いいたします。
研修会について何かご要望等ありましたら、下記のメールアドレスまでお願いいたします。

ccw@kaigo-kochi.jp



編集後記

梅の花も散り、桜の季節が近づいてまいりました。この冬は、比較的暖かく、過ごしやすく感じましたが、皆さま、いかがお過ごしだったでしょうか。

喜怒哀楽は、今年度最後の発行となりました。今年度は、9年に1度の中国四国ブロック研修会が高知で開催されたり、高知県介護福祉士会としての倫理綱領も策定され喜怒哀楽でも掲載いたしました。その他、介護福祉士にとって必要ではないかな？と思う情報も発信させていただきました。

見ていただいた方は、いかがでしたでしょうか？来年度もまた必要な情報を発信していきたいと考えております。ご意見、ご要望などあれば、事務局までご一報ください。よろしくお願いいたします。

広報委員長(理事) 溝淵 由記



医療法人 永島会

永井病院

〒780-0304 高知市春野町西分2027-3
電話 088-894-6611 FAX 088-894-6612

運動器の治療を中心に 整形・リハビリ・栄養・生活ケアなど
要介護高齢者のサポートを総合的に行い、春野の地域包括ケア
体制づくりを地域の方々や他事業所と共に行っています。

介護スタッフ募集中

【診療科】 整形外科・リウマチ科・内科
消化器内科・リハビリテーション科
【入院】 療養型病床 医療40床・介護52床
【在宅】 居宅介護支援事業所・訪問介護
通所リハビリテーション

院長 市川徳和